

平成27年5月4日

さがみ野駅での一部シャッターの開扉遅れについて

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道㈱（本社・横浜市西区、社長・小澤 重男）では、平成27年（2015年）5月4日（月）午前4時47分頃、さがみ野駅において3カ所ある出入口のうち1カ所のシャッターを開け忘れ、始発列車にお客様が乗車できないという事象が発生しました。

ご利用のお客様には、大変ご迷惑をお掛けいたしましたことを深くお詫び申し上げます。詳細は下記のとおりです。

記

1. 発生日時：平成27年（2015年）5月4日（月）午前4時47分頃（始発列車発車時刻）
2. 発生場所：相模鉄道本線さがみ野駅（海老名市東柏ヶ谷2-30-28）
3. 状況：（1）駅係員が通常4時20分頃に3カ所の出入口のシャッターを開扉すべきところ、1カ所（さがみ野ライブ連絡口）の開扉を失念したまま営業を開始しました。
（2）4時50分に、お客様から同シャッターが開いていないとの電話での通報があり、直ちに開扉しましたが、1名のお客様が横浜行き上り始発列車（4時47分発）に乗車できませんでした。
4. 原因：駅係員がシャッター1カ所の開扉を失念したため。
5. 再発防止策：今回の事象を駅係員に周知し、シャッターの開扉にかかわる作業手順の徹底についてあらためて指導してまいります。

以上